

## 【新聞各社の回答全文】

NHKは、フェイク広告を掲載していたことが確認できた12の新聞社に対して取材を申し込み、次の4点について尋ねた。

- ①フェイク広告が、掲載された理由や背景は？
- ②フェイク広告が掲載されたことへの受け止めは？
- ③フェイク広告の掲載を把握していたか？今後の再発の防止策は？
- ④フェイク広告の公表を自ら公表し、説明する予定は？

各新聞社からの回答は、次のようになった。

### 【福島民報】

不適切なネット広告が表示されているとの指摘を受け、配信元に対して改善を申し入れ、すでに対策は講じました。今後、不適切なネット広告が流れないようにブロック対策を強化しました。このたびの配信元の不適切な広告についてユーザー皆様には深くおわび申し上げます。

### 【茨城新聞】

コメントできない。

### 【埼玉新聞】

コメントできない。

### 【神奈川新聞】

(理由や背景)

弊社では昨春から、Spее社の提供するレコメンド機能付き広告の配信プラットフォームUZOUを積極的に活用しております。弊社ニュースサイト「カナロコ」のユーザーが、それぞれ読んだ記事に関連して広告が出る機能ですので、ユーザーによっては「今、あなたにオススメ」という枠内でこの広告が掲載されていたこととなります。

(受け止め)

広告代理店やSpее社の広告審査をすり抜けて、不適切な広告が掲載されていたのであれば、ユーザーに対して大変申し訳なく思っております。

(フェイク広告掲載の把握と再発防止策)

掲載については把握しておりませんでした。弊社ではネットワーク型の広告を他にも活用しており、日々の膨大な広告在庫の適切性をチェックするのは物理的に難しくはありますが、可能な範囲でその内容を確認し、弊社サイトにふさわしくないと判断した場合は、配信停止の措置を執ってまいります。

(公表の予定)

現在のところ説明する予定はありません。

**【信濃毎日新聞】**

誤解を招くような広告が当社のウェブサイトに掲載されたことは誠に遺憾であり、ただちにネット広告配信会社に対応を申し入れるとともに、当社としても当該広告が再び掲載されないようブロックしました。アド・ネットワークの仕組み上、掲載される広告の内容を一つ一つ事前にチェックすることはできず、掲載可能な広告の分野を指定するなどの措置を講じてきましたが、ネット広告配信会社とさらに協議し、適正な広告掲載に努めてまいります。

**【福井新聞】**

ネット上の広告について弊社では、他の多くの新聞社でも採用されている大手の代理店、広告配信会社から配信されたものを掲載しています。

個別の広告について、問題があるといった指摘を外部から受けた場合には、弊社で確認した後に、必要があれば配信会社などに連絡して掲載を停止する措置をとっています。

なお、個別のケースにおける広告運用などに関しては、回答を差し控えさせていただきます。

**【伊勢新聞】**

コメントできない。

**【徳島新聞】**

ご指摘いただきました“ネット広告”に関しましては、現在詳しい状況を確認中です。

**【佐賀新聞】**

詳細については調査中であり、取材を受けられる段階ではありません。

**【大分合同新聞】**

弊社では、現在S p e e e社に対し、ご指摘いただきました広告が虚偽のものであったのかどうか、またそうであれば、どういった経緯でS p e e e社のコンテンツガイドラインを掻

い潜って配信されることになったのか、また弊社サイトに掲載された日時や期間、PV数などについて裏付けを取るべく調査を依頼している状況でございます。

同調査に対するS p e e e社からの回答を受け、事実確認を行った上で、あらためてご質問に回答させていただきたく存じます。

#### 【宮崎日日新聞】

ネット広告に関する取材につきまして、社内で検討した結果、今回は誠に申し訳ありませんが、お受けすることができない結論に至りました。

#### 【沖縄タイムス】

昨年末、広告配信事業者から配信された広告について、当該広告のリンク先に虚偽の内容があるとの指摘を受け、調査した結果、虚偽の内容であることを確認しました。確認した翌日に同広告の掲載を中止しました。同広告配信事業者に対してはチェック体制の強化と不適切な広告が配信されないよう強く申し入れるとともに、弊社としても広告の掲載基準に適合しないと判断した場合、広告掲載を中止するなど引き続き厳正に対処する所存です。